



2019年10月発行

学生広報委員 管楽器リペア科 1年 木村綾花 工藤綾華
高橋希美 林柚季

管楽器リペア研究科 取材レポート！

管楽器リペア研究科の魅力！

研究科とは??

これまで管楽器リペア科から多くの卒業生が全国各地に就職し、管楽器の普及に貢献してきました。現在、管楽器市場も成熟し、さらに専門的なスキルを併せ持つ人材の需要に応えるため、オーボエやファゴット等のダブルリード楽器や打楽器をベースに応用力を磨き、修理技術を学んでいます。管楽器リペア科卒業後の進路として、更に付加価値を身に付けたいと考え、学生が集まります。

集中力を研ぎ澄ませます！



左からグラインダー、パフ、ベルトサンダー、旋盤を設置。楽器を磨いたり、部品を切削したり、工具の加工などに使用します。



マンツーマンで、きめ細かく指導

現場実践を意識した授業！

企業の第一線で活躍されている講師陣に教わるので、技術習得以外にも業界の「今」や豊富な経験など、お話を聞くことができます！
また、国内外の様々なメーカーの楽器を学んだり、自分がやりたいことをそれぞれ掘り下げて取り組みます。一対一で講師に相談もでき、技術の更なるレベルUPを図れます！



3つの特徴

ダブルリード
や打楽器

ソルフェージュ
やビジネス

課題探求
できる環境

講師の先生ご紹介☆

佐場野先生
管楽器工房 Geppett
2009年創立(長野)
木管楽器の修理・製作を行う工房を経営。パーツ製作も行う本格的な工房。

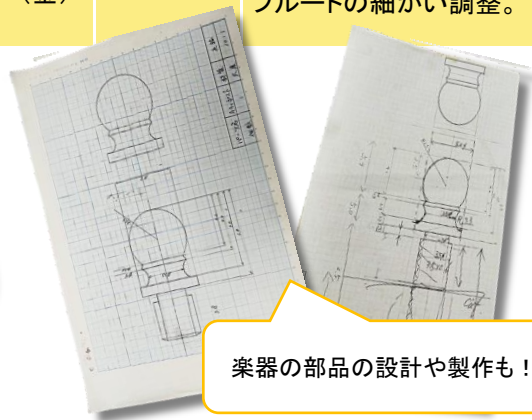
谷口先生
管楽器専門店ウインズラボ
1994年設立(富山)
管・打楽器の修理・販売を行い、国内外の楽器を取り扱う専門店を経営。

野島先生
FMC フルートマスターズ
1992年設立(静岡)
フルートの修理・製作を行う専門店を経営。高い技術力で知られる。



取材した日の授業

	使用楽器	内容
9/3 (火)	ホルン	それぞれが自分のやりたい分野にわかれて作業。 凹みを直すヘコ出しや部品と部品をつなげる溶接作業など。
9/5 (木)	フルート	タンポの厚みを調整するための調整紙というものを使って、難易度の高いタンポの交換実習。
9/20 (金)	木管楽器	高度な要望に応えるため、クラリネットの難易度の高いタンポ交換やフルートの細かい調整。



楽器の部品の設計や製作も！

みんな知りたい！Q & A

Q1. 管楽器リペア研究科に進学した理由はなんですか？

- A1. ★管楽器リペア科 2年間の実習に磨きをかけ、管楽器リペア研究科でダブルリード楽器など、自分に付加価値をつけたいと思ったからです。(石田さん)
☆将来的に独立したいと考えています。一流の講師陣から技術以外にもビジネス関係も勉強したいと思ったからです。(大森さん)



ホルンの溶接

Q2. 現在、どのような作業をしていますか？

- A2. 現在、木管楽器ではフルートのタンポ交換、金管楽器ではホルンのロータリーについてのリペア技術を学んでいます。フルートでは、タンポ交換の時に厚さや量、バランスを考えながら調整紙を使用する繊細な作業をしています。ホルンでは、メーカーごとの違いについて考えながら凹みを直す作業や部品同士をつける溶接という集中力が必要な作業をしています。

微妙な調整



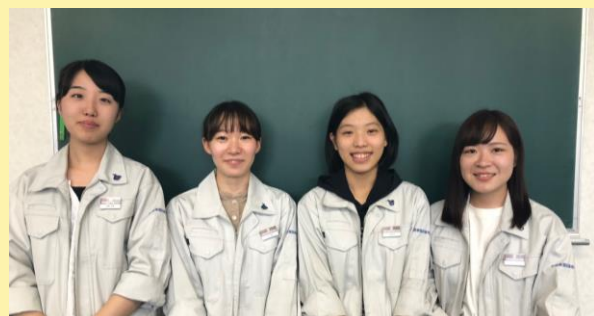
ホルンの分解

Q3. 講師の方々に聞きました。1年間の学びで得ることは？

- A3 授業では、メーカーや各楽器にあった専門工具を使うので現場に出た時の自信、そして即戦力に繋がります。講師陣の今までの経験などを踏まえ、色々なことを伝えていきたいです。

学べたこと&発見できたこと

- ★現場実践をしているような環境でリペアの技術を学び、経験を積めることが分かりました。(高橋)
- 興味深い授業が多くあり、応用力と実践力を身につけられる魅力的な所だなと思いました。(木村)
- 研究科は管楽器リペア科で2年間学んだ内容をさらに磨く貴重な場であると分かりました。(工藤)
- ◆ダブルリードや打楽器の修理が学べ、管楽器リペア科との違いを色々知ることができました。(林)



左から高橋・木村・工藤・林

